

新たな交通結節点西山天王山駅

～新駅を拠点とした取組みについて（京都府長岡京市）～

【京都財務事務所】

1. 長岡京市について

本市の歴史は古く、約 1,500 年前に「弟国宮（おとくにのみや）」、約 1,200 年前に「長岡京」と二度にわたって都として栄えた。

本市は京都盆地の西南部に位置し、北は向日市・京都市、東は京都市、南は大山崎町、西は西山連峰を境に大阪府と接している。

交通は、東部を J R 東海道本線、中央部を阪急京都線がそれぞれ並行して通過している。さらに、

京都縦貫自動車道のほか、東海道本線の東側には東海道新幹線・名神高速道路・国道 171 号が縦走している。



2. 西山天王山駅について

本市にとって約 80 年ぶりの新駅となる阪急京都線「西山天王山駅」が平成 25 年 12 月 21 日に開業した。新駅の駅舎建設費用は阪急電鉄と長岡京市で折半し、新駅周辺整備は長岡京市で負担している。

新駅は、長岡天神駅と大山崎駅との駅間距離が阪急電鉄の全路線の中で 2 番目に長い距離となっていることもあり、両駅のほぼ中間に位置す

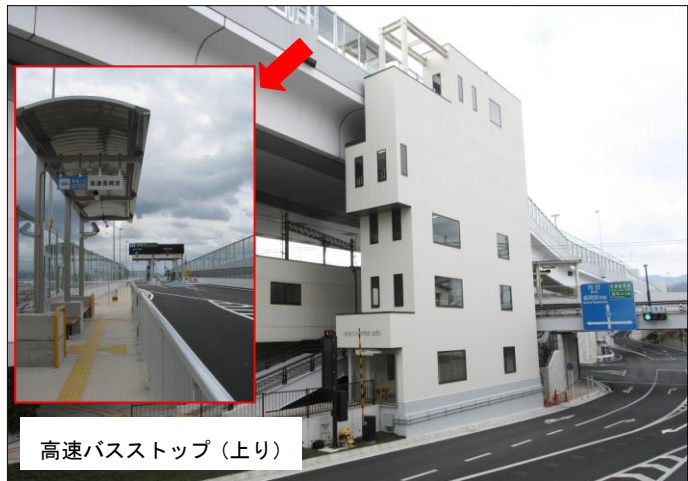


る。また、高速道路である京都縦貫自動車道長岡京 I C（インターチェンジ）に隣接し、京都縦貫自動車道の真下に建設されているため、鉄道と高速道路が直結する全国でも珍しい構造となっている。

高速道路には上り、下りの2箇所「高速長岡京バスストップ」が開設され、高速バスストップへは駅前広場からエレベーターで直結。東京・横浜・長野・宮津方面など28便/日が発着している。高速道路の「駅」と鉄道の「駅」とが同一箇所に存在する新しい形の交通結節点となっている。

そして、電気自動車に対応した急速充電器を備える駅前のパーク＆ライド駐車場を活用することにより、マイカーから鉄道や高速バスなど、鉄道・高速バス・マイカーの乗り継ぎが容易となっている。

さらに、JR長岡京駅、阪急西山天王山駅及び京阪淀駅をつなぐバス路線も新設され、桂川を挟んだ東西の移動ができるようになるなど交通利便性が向上している。



高速バスストップ（上り）



パーク＆ライド駐車

3. 新駅を拠点とした取組みについて

(1) 交通利便性の更なる向上

高速バスについては、予想以上に好調となっているなど、まだまだ需要が見込まれるほか、飽和状態の京都駅発からシフトする動きがみられるなど、新たな路線や便数の増加が見込まれている。これにより、交通利便性の更なる向上につながり、人が集まる魅力ある交通結節点にしたいとしている。

(2) 新駅周辺のまちづくり

新駅周辺については、新駅開業に伴い駅前にマンションが建設されたほか、スーパーマーケットも進出し建設中となっている。また、高速道路高架下を利用した公園整備（総面積約4ヘクタール。一部は26年7月に供用開始。）を行うなど地域が活性化しつつある。

しかしながら、本市では京都縦貫自動車道により、まちが分断され、宅地利用しにくい残地が沿道に存在することから、将来を見据えたまちづくりとして沿道の都市的土地利用を誘導していく必要があると考えており、これにより、新たなまちの発展につなげたいとしている。

(3) 観光客の呼び込み

観光客の呼び込みについては、新駅が鉄道と高速道路の交通結節点である利点を生かして

京都府内のご当地グルメをはじめ、海産物、特産物、とれたての新鮮野菜を集め販売するイベントを開催しており、新たなにぎわいにつなげる取組みを行っている。26年6月29日には府内の「おいしい」がやってくる「ふるさと軽トラ市」を開催する。また、26年7月には舞鶴若狭自動車道、26年度末には京都縦貫自動車道が全線開通となることから、さらに高速道路ネットワークが大きく広がり、京都府北中部の海産物などを産地直送により新鮮な状態ですばやく提供できるようになるなど期待も大きい。

4. 今後について

今後については、新駅周辺に26年9月に立命館中学校・高等学校が移転予定となっているなど新駅の利用者がますます増加することが見込まれる。

本市では、「新駅の開業や周辺施設の整備などハード面はできあがってきている。あとは新駅を拠点とした新たなまちの発展とにぎわいにつながる取組みにより、地域活性化につなげたい。」としている。新駅を拠点としたこれらの取組みが地域活性化に資することを期待したい。

(長岡京市 ホームページアドレス <http://www.city.nagaokakyo.lg.jp/>)